

# 口蹄疫等家畜伝染病に対応した 獣医師育成環境の整備事業 (平成23～25年度)

## ＜分野1＞

産業動物診療分野における全国的臨床実習  
システムの構築

## 事業の概要と 第2回アンケート調査結果

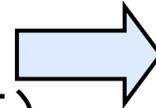
チーフコーディネーター  
岐阜大学/特任教授

小森成一

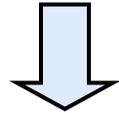
# 背景と目的

## <背景>

家畜伝染病の発生  
(口蹄疫・鳥インフルエンザ等)



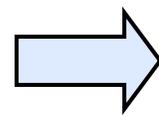
公務員獣医師  
産業動物獣医師  
ニーズ(数・質)↑



産業動物臨床の知識・技能を体系的に習得する  
教育体制  不備・不足の顕在化

## <事業の目的>

- 大学間の連携
- NOSAIなど外部  
専門機関の協力



全国の獣医学生を対象とした

総合的産業動物  
臨床実習システム

**構築**

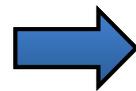
- 産業動物の臨床教育の充実
- 産業動物獣医師の育成

## 実施体制

- 基幹校: 岐阜大学
- 連携校: 酪農学園大学、北里大学、鹿児島大学
- 協力機関・組織: 全国農業共済協会(NOSAI全国)  
日本中央競馬会(JRA)  
全国獣医系大学代表者協議会

## 取り組み

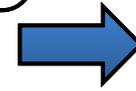
現状調査  
アンケート調査



外部専門機関で  
の実習の充実

+

学内で実施す  
る実習の充実



総合的産業動物  
臨床実習システム

構築

# 平成24年度の取り組み

## 1.外部専門機関で行う実習の充実

- ①産業動物臨床実習システムの運営
- ②アドバンス実習システムの構築

## 2.大学内で実施する実習の充実

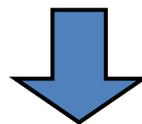
- ①基盤実習プログラム案の試行・検討
- ②NOSAI獣医師による出前授業システムの構築
- ③第2回アンケート調査

## 1. 外部専門機関で行う実習の充実に向けた取り組み

### ① 産業動物臨床実習システムの運営

NOSAI全国: 夏期臨床実習 (北海道を除くNOSAI)

参加申込み: 各大学 ↔ 各県NOSAI



申込窓口を**岐阜大学**に一元化

「産業動物臨床実習プログラム」

- ・ 参加申込、実習前、実習後の手続きの確立
- ・ 教育効果の向上をはかる仕掛けの導入

平成24年度: 参加学生 **128名** 👉 詳細は次演者

# 1.外部専門機関で行う実習の充実に向けた取り組み

## ②アドバンス実習システムの構築

### <スタンダード編>

#### 目的

学生によりさまざま☞体験学  
習、実践実習(単位取得)、アド  
バンス実習など

#### 実習対象者

- 1~6年次生
- 産業動物に興味・関心のある学生

#### 実施NOSAI

北海道を除く全国のNOSAI  
受入れ:応募者全員

### <ステップアップ編>

#### 目的

後継者育成のためのアドバ  
ンス実習

#### 実習対象者

- 5・6年次生
- 産業動物臨床獣医師を志す  
学生

#### 実施NOSAI

7県のNOSAI☞宮城・山形・  
千葉・兵庫・岡山・宮崎・鹿児島  
受入れ:少人数限定

# 平成24年度の取り組み

## 1.外部専門機関で行う実習の充実

- ①産業動物臨床実習システムの運営
- ②アドバンス実習システムの構築

## 2.大学内で行う実習の充実

- ①基盤実習プログラム案の試行・検討
- ②NOSAI獣医師による出前授業システムの構築
- ③第2回アンケート調査

## 2. 大学内で行う実習の充実に向けた取り組み

### ① 基盤実習プログラム案の試行・検討

コアカリの目標を達成するための実施項目

分類	項目	1~5		0~3	
		必要度	実施度	必要度	実施度
1 診療の基本 (診察)	牛の個体識別の実施	3	1.9		4.9
	飼養目的別・畜種別疾病リストの作成	1	0.5		1.5
2 診療の基本 (手技)	BCSの評価	4	1.8		5.8
	体重測定	3	1.3		4.3
	直腸音の測定	5	2.4		7.4
	採血(頸静脈)	5	2.2		7.2



必須度の目安

95項目を評価



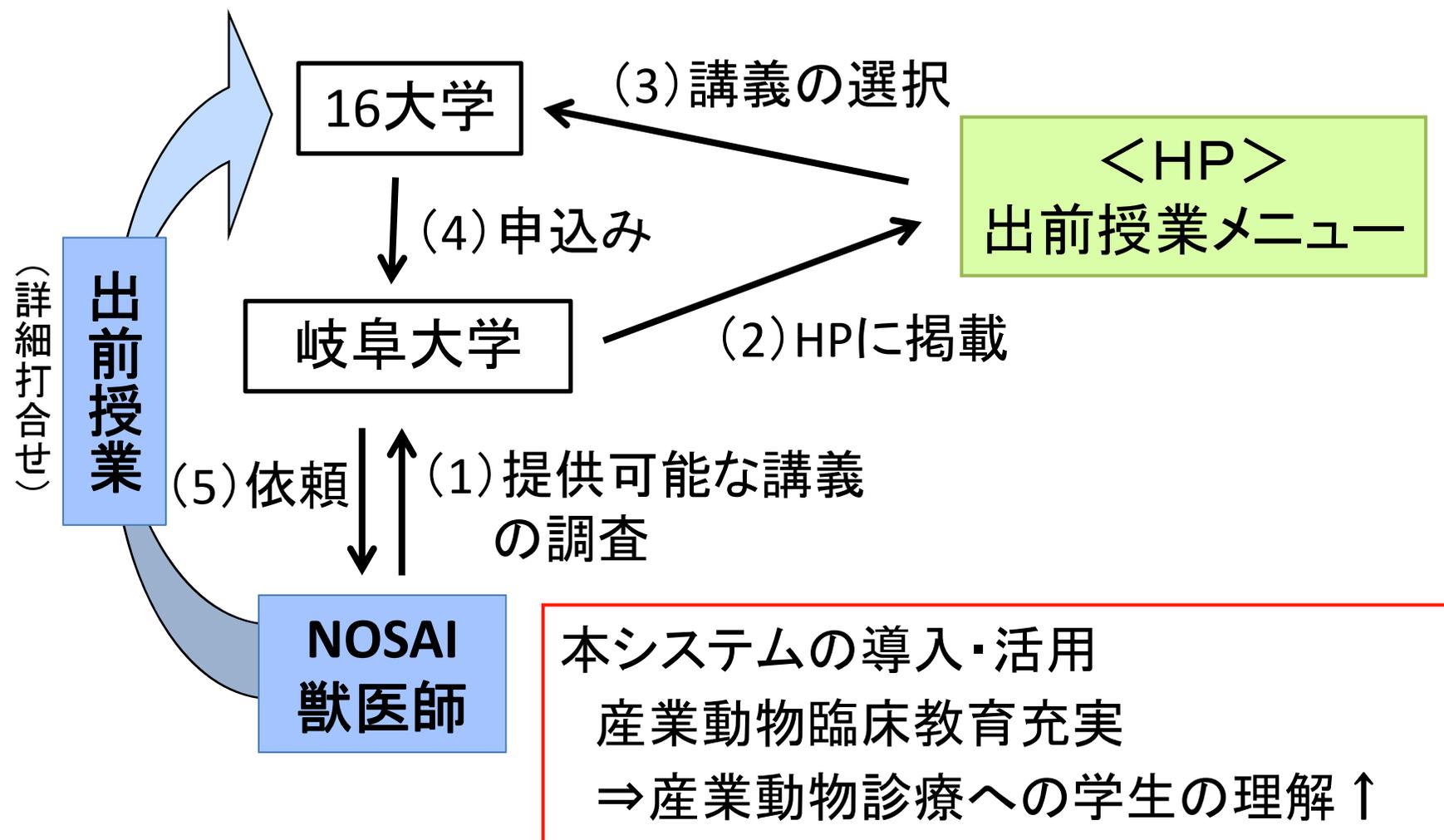
16大学に提示



実習に応用

## 2. 大学内で行う実習の充実に向けた取り組み

## ②NOSAI獣医師による出前授業システムの構築



## 2.大学内で行う実習の充実に向けた取り組み

### ②NOSAI獣医師による出前授業システムの構築

#### <メニューの例>

No.	区分	講義・実習名	内容	提供NOSAI
1	講義	全般および牛の疾患	大学と協議のうえ決定	NOSAI宮城
2	講義	臨床獣医学特論 -肉用牛の内科疾患・遺伝病-	肉用牛の臨床現場で遭遇する機会の多い内科疾患の症状や実際の治療法、肉用牛に関係する遺伝病の紹介、診療所で実施している損害防止事業	NOSAI北薩
3	講義	産業動物実習	NOSAI獣医師の業務、臨床症例	NOSAIそお

#### <その他情報>

対象人数、所要時間、実施時期  
実施可能地域など

HP 掲載

## 2.大学内で行う実習の充実に向けた取り組み

### ③第2回アンケート調査

#### <主な調査項目>

#### A. 産業動物臨床実習の実施環境

- 教員体制
- 実習用動物

#### B. 産業動物臨床実習の実施項目

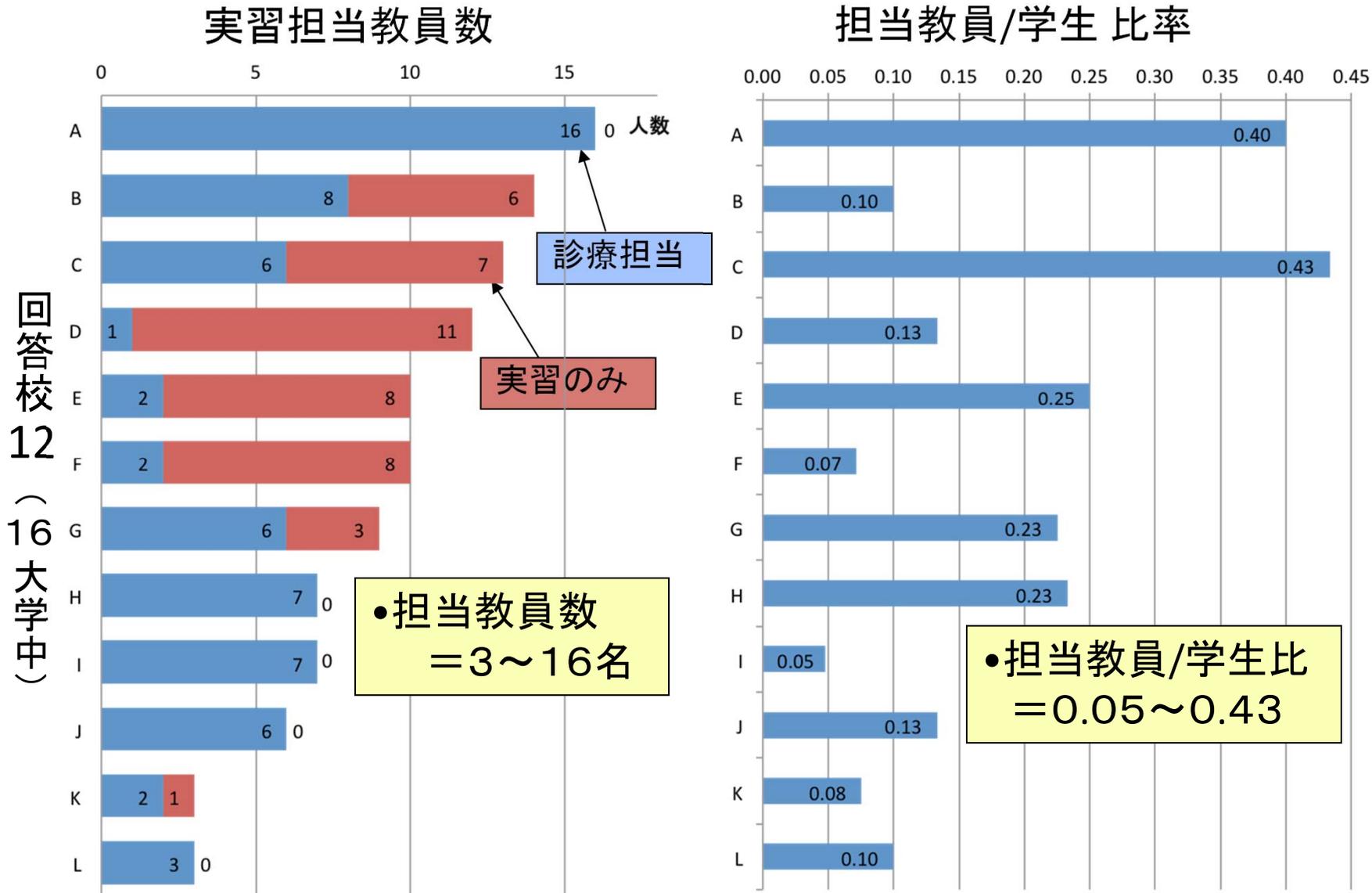
#### C. 参加型臨床実習への対応状況

- 診療状況
- 1次診療フィールド
- 参加型臨床実習の対象牛

#### D. NOSAIとの連携状況

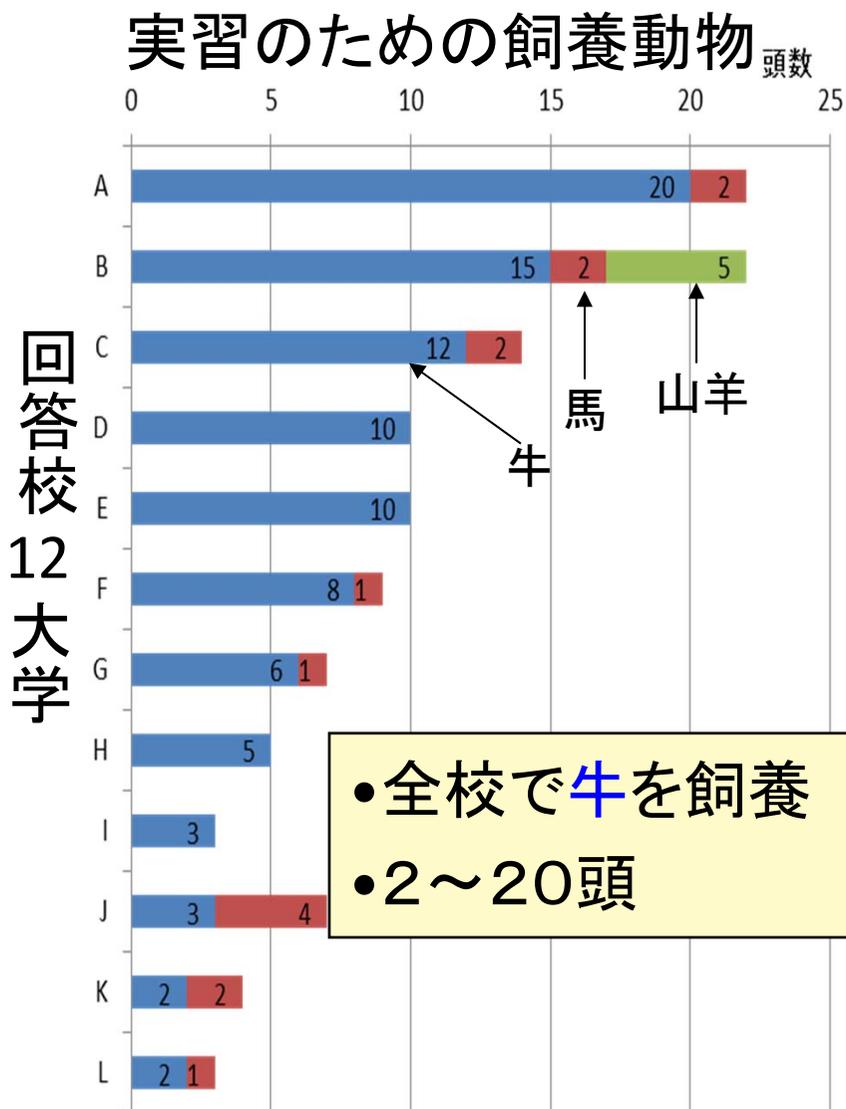
# 第2回アンケート調査 集計結果

## A. 産業動物臨床実習の実施環境(教員体制)



## 第2回アンケート調査 集計結果

### A.産業動物臨床実習の実施環境(実習用動物)



- 全校で牛を飼養
- 2~20頭



• 牛1頭当たり、  
学生1.5~20人

実施環境の大学間較差  
かなり大きい

# 第2回アンケート調査 集計結果

## B. 産業動物臨床実習の実施項目

コアカリの目標を達成するための実施項目

分類	項目
1診療の基本 (診療)	牛の個体識別の実施
	馬の個体識別の実施
	牛の個体識別情報検索の利用
	飼養目的別・畜種別疾病リストの作成
	牛の引き回し
	牛の柵場保定
	牛の胴締め
	馬の引き回し
	馬の柵場保定
2診療の基本 (手技)	BCSの評価
	体重測定
	体尺測定
	体表リンパ節の触診
	直腸音の測定
	...

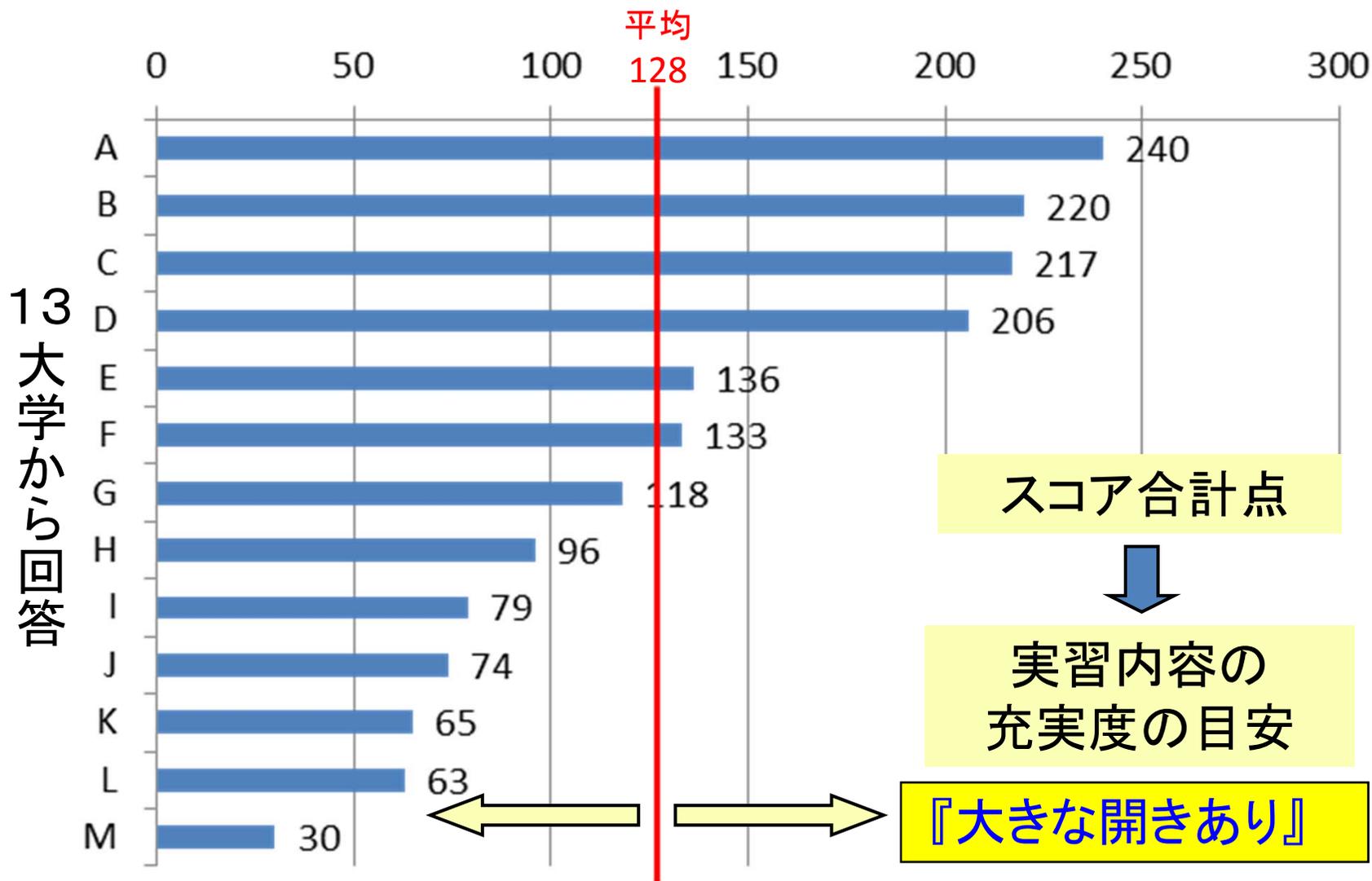
×

- スコア
- 0 実施していない
  - 1 実習・廃用動物に実施  
(基盤実習)
  - 2 農家等の患畜に実施  
(参加型実習)
  - 3 実習・廃用動物および農家等の患畜に実施

計: 104項目

||  
実施スコア

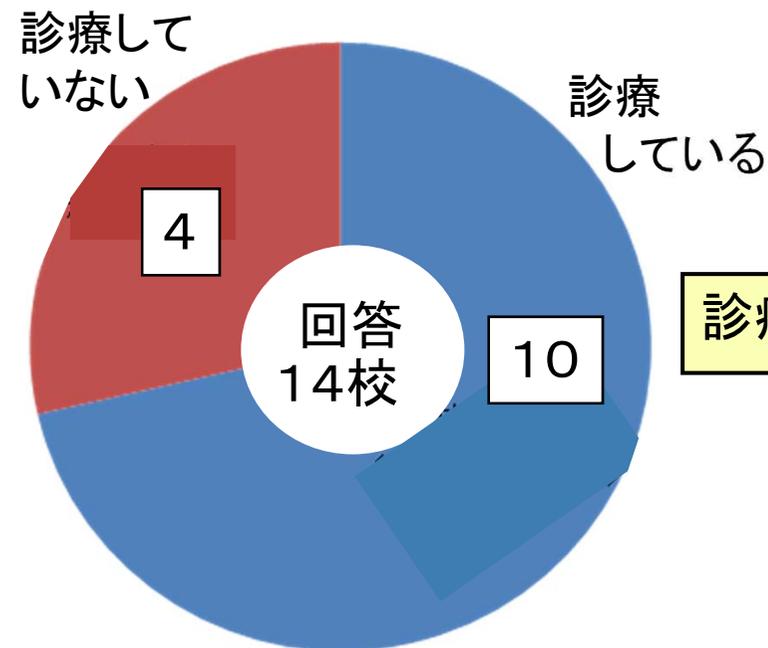
## 実施項目スコアの合計点



## 第2回アンケート調査 集計結果

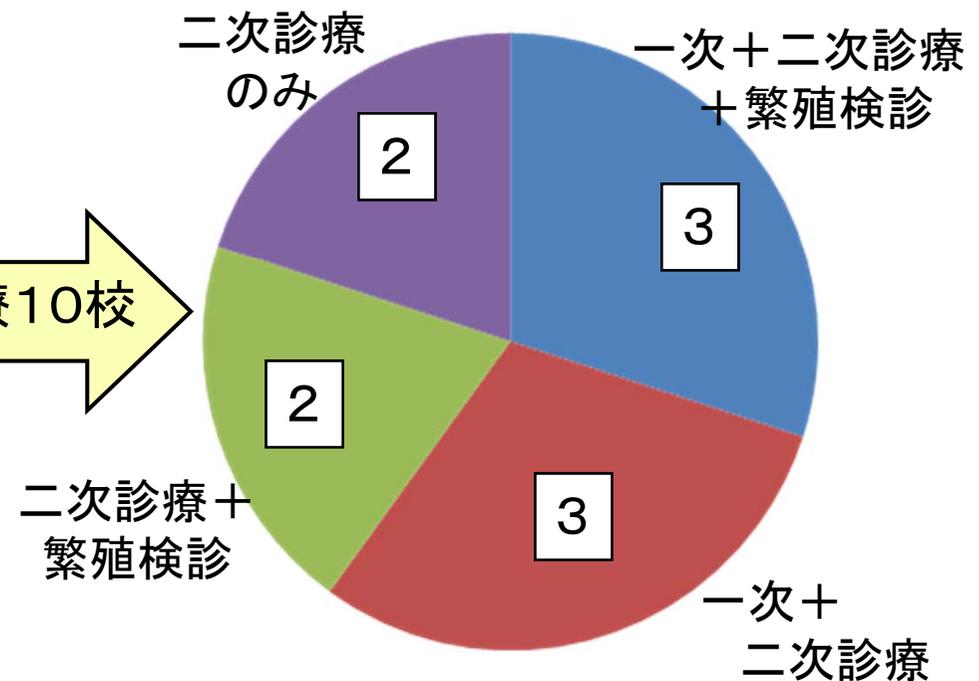
## C. 参加型臨床実習への対応状況(診療状況)

## 『産業動物の診療をしているか』



産業動物診療👉  
14校中10校が実施

## 『診療実施校の診療内容』



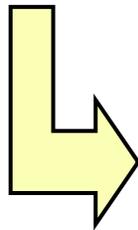
一次診療👉  
診療10校中6校が実施

第2回アンケート調査 集計結果

C. 参加型臨床実習への対応状況  
(一次診療フィールドの規模)

一次診療フィールドの家畜とその数

大学	A	B	C	D	E	F
有償	牛 2020	牛 880	牛 360	牛 100		
無償	馬 100				牛 40 豚 4 羊 20	牛 130

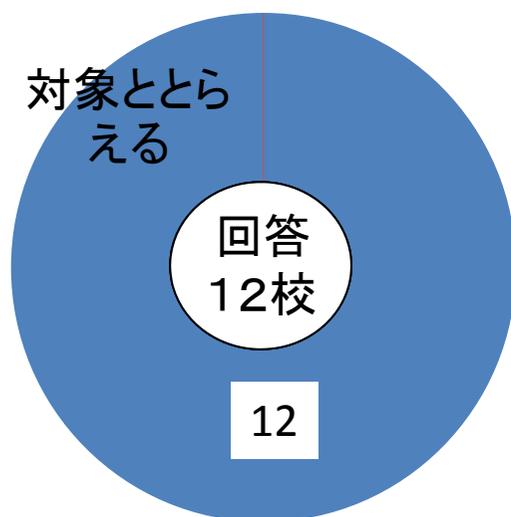


参加型臨床実習が可能な診療フィールドを有する大学  現時点では少ない

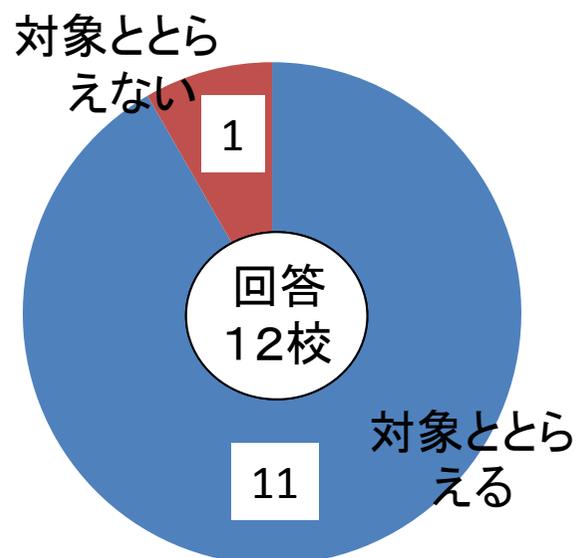
## 第2回アンケート調査 集計結果

### C. 参加型臨床実習への対応状況 (参加型臨床実習の対象牛)

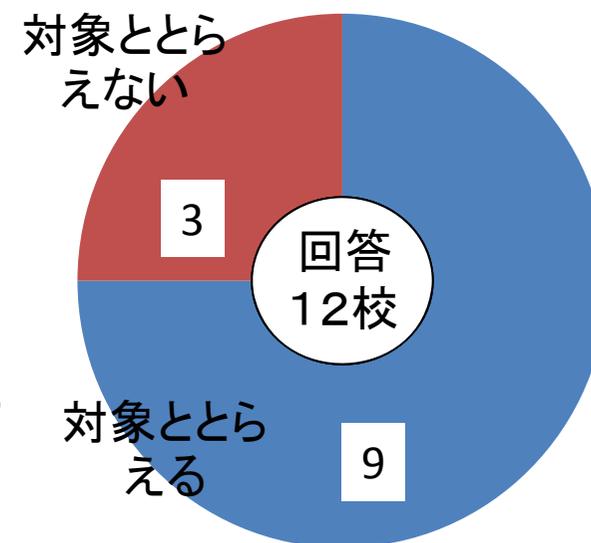
#### 畜産農家の牛



#### 附属農場の牛

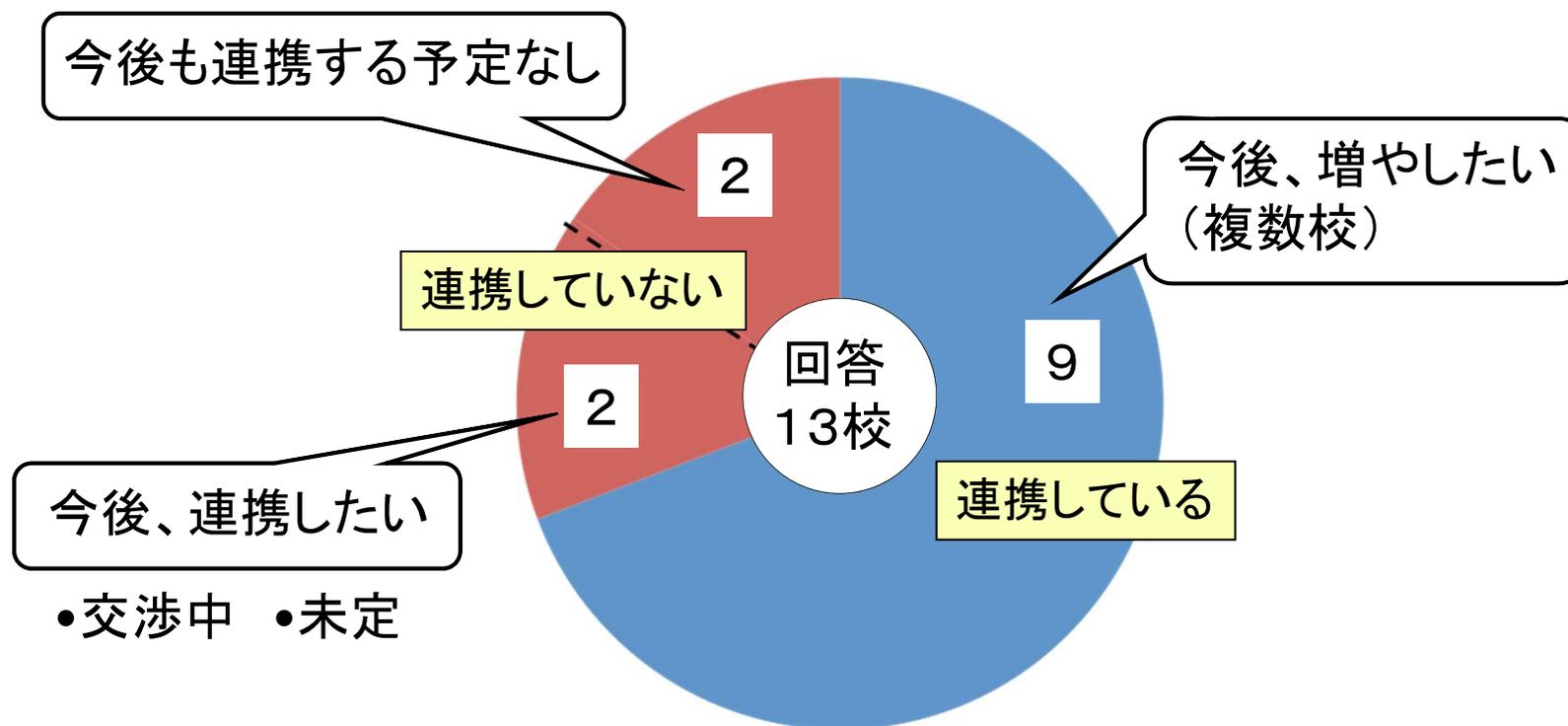


#### 実習牛・廃用牛



参加型臨床実習自体の捉え方 → 大学間で異なる  
共用試験との整合性？

## 第2回アンケート調査 集計結果 D. NOSAIとの連携状況



•NOSAIの協力による臨床実習👉多くの大学

•コアカリ実施

=参加型臨床実習必修化

- 👉 NOSAIへの協力要請
- 👉 自前の診療フィールド
- 👉 実習拠点形成

# 平成25年度(最終年度) 取り組み予定

1. NOSAI夏期臨床実習
  - ・スタンダード編の継続実施
  - ・ステップアップ編の新規実施
2. 導入および基盤実習プログラムの連携4校  
による試行と提案
3. 出前授業システムの運営開始
4. フォーラムの開催